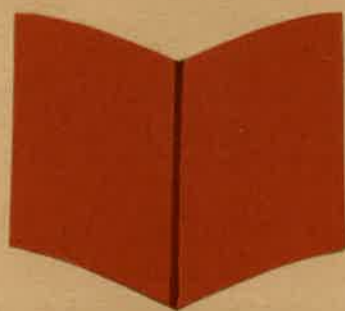


なぜ無料で利用できる？

図書館を 調べる学習



常盤台小学校 6年1組
赤平 瑞樹

優秀賞



令和6年度 板橋区
「図書館を使った
調べる学習コンクール」
小学校高学年の部



目次

● 調べるきかけ	1
● 疑問と予想	3
● 調べる方法	4
● なぜ図書館は無料で利用できるの?	5
● 図書館の歴史	7
● 図書館の役割	15
● 図書館の種類	22
● いろいろな図書館に行ってきた!	26
● 板橋区の取りやめ	39
● まとめ	47



調べるきっかけ

●本はなぜ無料で借りられるのか

ぼくは、正直に言うとあまり本を読むのが好きではありませんでした。そして図書館も家から遠かったので、わざわざ図書館に行き、本を借りることがほとんどありませんでした。

けれど、数年前に自宅の近くに板橋区立中央図書館が移転してきました。すると、親から「せ、かく近くに図書館があるんだから本を借りて読みなさい」と言われるようになりまし。た。なので、気軽に本を借りられるようになっ。て、本を読む機会も増えました。



ある日ぼくは、いつも通り、本を借りに行きました。たくさんの本を抱えて貸出処理をしていると、ふと「なんで図書館の本は無料で借りられるのだろう？」

と思いました。これまで、図書館にある本は、区民や学校などから寄付されたものなのかなと思っていました。けれど、新しい本もあるし、もっとちゃんとした理由があるのかな?と思いました。

●なぜ図書館を使って調べるのか

そして、ずっと疑問に思っていたのが、この調べる学習はなぜ図書館を使わないといけないのかです。わざわざ図書館で調べる意味が、ぼくにはよく分かりませんでした。

今まで、ぼくは図書館についてあまり気にしていなかったけれど、図書館ってなんだろうと改めて考えてみようと思いました。





疑問と予想

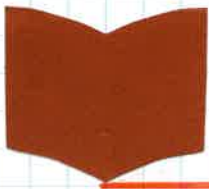
？なぜ図書館の本は無料で借りられるのだろう？

区民から寄付してもらったり、区内の本屋さんから無料でもらったりしているのかな？けれど、もっと別の理由があるんじゃないかと思います。

？なぜ図書館を使った調べる学習なんだろう？

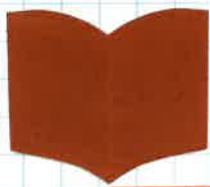
図書館には本がいっぱいあって調べやすいからかなと思います。

そして、本を使うことで児童の語い力や、理解力、文章をまとめるかなどをつけたいからなのかな？とも思いました。



調べる方法

- 図書館の本で調べる
- インターネットで調べる
- 図書館に行ってみる
- イベントに参加してみる



なぜ図書館は無料で利用できるの？

●本が無料で借りられる理由

まず、なんで図書館の本が借りられるのか、本を読んで調べてみました。すると『図書館の役割を考えたみよう』という本に書いてありました。



秋田喜代美『図書館の役割を考えたみよう』岩山書店2012年

●図書館法で決められているから

日本の法律の一つに「図書館法」というものがあります。その中の第十七条に「公立図書館は、入館料
その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収
してはならない」という文があります。この図書館法の原則に
基づいて、図書館は無料で利用できるようになっているの
です。(一部の私立図書館を除きます)

図書館法
(抜粋)

第一章 総則

第一条 (この法律の目的) この法律は、社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)の精神に基づき、図書館の設置及び運営に關して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

第二条 (定義) この法律において「図書館」とは、圖書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの(学校に附屬する図書館又は図書室を除く)をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

第十七条 (入館料等) 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

『図書館の役割を考えたみよう』P.28より

●公共図書館は税金で運営されているから

地方公共団体が運営している公共図書館は、公共サービスの一つとして作られており、住民や地域社会に知識を伝えるのが目的の施設となっています。そのため、運営には住民の税金でまかなわれ、無料で貸し出すことができるのです。

図書館はお金がある人でもお金がない人でも、誰もが平等に本を読んで知識を得られる場所なのです。

感想

法律で決められているとは思っていたのでびっくりしました。図書館はそれほど大切な施設だったんだと、改めて興味を持ちました。



図書館の歴史

●図書館はなぜあるの？

そもそも、なぜ図書館という施設ができたのでしょうか。それを調べるために、ぼくは図書館に行って、図書館について書かれた本を探してみました。

●図書館の歴史は文字の歴史

『図書館のはじまり・うつりかわり』という本に、図書館の歴史がまとめられていました。図書館の歴史は、文字の発明からはじまるものでした。



秋田善代美『図書館のはじまり・うつりかわり』岩崎書店2012年

●文字の発明と記録

文字のはじまりは、紀元前3000年頃からメソポタミア文明で使われていた「楔形文字」です。同時期にエジプト文明では「ヒエログリフ」という絵文



『図書館のはじまり・うつりかわり』P.8より

字が生まれ、紀元前 1600 年頃の中国文明では、漢字の
起元となる「甲骨文字」が使われはじめました。

文字を記録する方法として、ねんどを板状に
したものに文字をきざんで固くしたものや、パピルスと
いう植物を紙のようにした「パピルス紙」、動物の皮か
らつくられた「羊皮紙」などが発明されました。

●記録の貯蔵庫が世界最初の図書館

文字が登場してものごとを記録できるようになると、
それらを保管するための場所が必要になります。そうし
た貯蔵庫が、メソポタミア一帯やエジプトのピラミッド
内部や神殿跡で見つかりました。これが、世界最初
の図書館と考えられています。

V
感想

文字が書かれたものをまとめて保管しておく場所
なんだね！

●図書館のうつりかわり

文字が発明され、それを記録したものを保管した貯蔵庫＝図書館は、思想家や研究者などの学者を集めるための施設として作られるようになりました。

★ 紀元前300年頃

古代最大の図書館 アレクサンドリア図書館

- 古代エジプトで建てられた、知識の宝庫といわれる。
- 本の初期の形である「巻物」が数十万本保存。
- 蔵書を分類して管理する目的も作られた。
- 「西洋の学術図書館の原型」ともいわれる。

★ 紀元前39年

公共図書館のはじまり

- 古代ローマ時代、将軍たちが遠方での戦利品として獲得した本を集めて、市民に公開するようになった。
- 公共の利用のための図書館が設立。

★ 4世紀末から15世紀半ば

中世の修道院図書館

- この時代のヨーロッパは、キリスト教が中心の社会で、図書館もキリスト教とともに発展。
- 教会や修道院にも図書館が作られるようになり、聖書などや宗教書を中心に本が集められた。

この時代には印刷技術がなかったため、本は当時、書き写しをすることしか手に入れることができていた。けれど、書き写していくときに間違いが起こってしまうこともあります。なので、間違いのない原本がある図書館はとても重要でした。

●印刷技術の発明と変わる図書館の歴史

1455年頃、ドイツのヨハネス・グーテンベルクが新しく発明した活版印刷機を使い、聖書が印刷されました。この技術により、一度にたくさんの本を印刷することができるようになりました。

本の大量生産が可能になると、図書館の役割も大きく変わりました。このころまでの図書館は貴重な本を保存することが目的でしたが、人々に貸し出しするようになりました。また、活版印刷によって本が増え、各地に図書館が作られるようになりました。

★16世紀～18世紀

会員制図書館が広がる

- 一般市民への貸出も行われるようになる。
- 1731年にベンジャミン・フランクリンが会員制図書館「フィラデルフィア図書館会社」を設立。
- アメリカやヨーロッパ各地で会員制図書館が広がる。

★18世紀～

公共図書館の発展

- 1848年アメリカ、1850年イギリスで「公共図書館法」成立
- 会員制図書館が既存の図書館へと発展し、世界中で公共図書館が作られるように。
- 「誰もが利用できる図書館の理想が世界中に広がる
- 1848年にアメリカのボストンにはじめての公共図書館が誕生

本が大量生産できるようになったことで会員制図書館が広まり、やがて公共図書館が誕生して、市民が自由に利用
することのできる基本的な形になっていきました。

V

感想

本を貸し出すことで、より多くの人々が知識や思想を得られるようになったんだね。読み書きができる人の数が増えたことや、読書意欲が高まったことも、図書館が発展する力になったのかな。

●日本の図書館のありみ

日本でも、本を収集して人々に公開する図書館みたいな場所が、奈良時代にあったとされています。

8世紀の半ば頃、奈良時代の有力貴族である石上宅嗣^{いそのがみのやかつぐ}は、自分の屋敷に「芸亭^{うんてい}」といわれる、本を入れておく文庫^{ぶんこ}（本を入れておく建物）を作りました。この芸亭は、日本最初の公共図書館だったとされています。



『図書館のまじまじ』つりがわら P.34より

●武士の文庫（鎌倉時代～江戸時代）

武士が力を持っていた鎌倉時代の文庫では、武士の北条実時^{ほうじょうさねとき}が邸内につくった金沢文庫^{かなざわぶんこ}が有名です。のちに徳川家康が、金沢文庫をもとにした富士見亭文庫を江戸城内に開設しました。この時代の文庫は、武士や役人など限られた人しか利用できませんでした。

●文庫から近代図書館へ(明治時代～)

明治時代になると、西洋の新しい文化がとりいれられるようになった。1872年に明治政府によって東京に「書籍館」が設立され、日本初の近代的な図書館といわれました。1887年には西洋の図書館を参考にした「帝国図書館」が開設されました。



『図書館のはじまり-うつかり』
P. 37上)

さらに明治時代半ばには、一般市民に読書の機会を提供するための^{つうぞくとしょかん}「通俗図書館」と呼ばれる図書館が、各地域に開設されました。

そして明治時代後半になり、図書館に関する単独の法令が作られたのをきっかけに、図書館の制度が整備され、たくさんの公共図書館が作られました。

●戦後からかわる図書館(昭和～現代)

第二次世界大戦の終戦後、日本は連合国軍総司令部 (GHQ) のもとで民主化対策がすすめられました。民間情報教育局(CIE)によって、図書館を含めた教育制度改革が行われ、1945年に「CIE図書館」が東京に開設されました。アメリカの公共図書館サービスなどが取り入れられたCIE図書館は、1951年までに全国23館開設され、おはなし会、講演会、映画会、英会話教室などもひらかれました。

1950年には、アメリカをモデルにして図書館の設置や運営などについて定めた 図書館法 が公布されました。誰もが利用できる公共図書館が全国で増加し、現在の図書館制度の基盤となりました。

V
感想

外国の方式を取り入れることで、日本の図書館は大きく変わって、いろいろな人が利用しやすくなっただね！



図書館の役割

●いまの図書館でできること

図書館の歴史を調べることで、図書館は本をよめて保管しておく場所から、人が本を読むための場所になり、そして本の貸し出しも行うようになるまでの移り変わりが分かりました。

では、いまの図書館はどのようなことができるのかな？『図書館図鑑』という本に、いまの図書館について詳しく書かれていました。



小田光宏『図書館図鑑』
金の星社 2021年

図書館のおもなサービスは「閲覧」「貸出」「リファレンス」の3つです。本だけでなく、新聞や雑誌などの印刷物のほか、CDやDVDなどもあり、これらのことを「資料」といいます。ほかにも、便利に楽しく図書館を利用してもらうためのいろいろなサービスがあります。

①^{えっらん}閲覧サービス

図書館の資料を自由に読めるようにするサービスです。原則としてすべての資料を閲覧することができ、書庫にある資料もカウンターで申し込めば読むことができます。

②貸出サービス

貸出サービスは、利用者に資料を貸し出すことです。資料を借りるには利用者登録が必要です。登録の条件や借りられる冊数、返却期限は、図書館ごとに決められています。

③レファレンスサービス

レファレンスとは「参照する」という意味で、利用者から資料を調べる手助けをするサービスです。利用者が調

べたいことがのっている資料を案内したり、情報の調べ方などの相談を受けたりします。

●図書館の役割と工夫されていること

図書館では、利用者がより便利に利用しやすいように、さまざまな工夫がされています。『図書館のひみつ』という本には、図書館の仕事や役割などが詳しく書かれています。



高田高史『図書館のひみつ』
PHP研究所 2016年

●資料を集める

図書館に置く資料は、図書館に必要なと思われる資料を、図書館員が「選書会議」で話し合って決めます。そこで決まったものを書店や業者から購入しています。選ぶ資料は、新刊情報や書評、利用者のリクエストなどを参考にしています。

新しく入った資料には、利用者に貸し出しができるように「整理」と「装備」を行います。

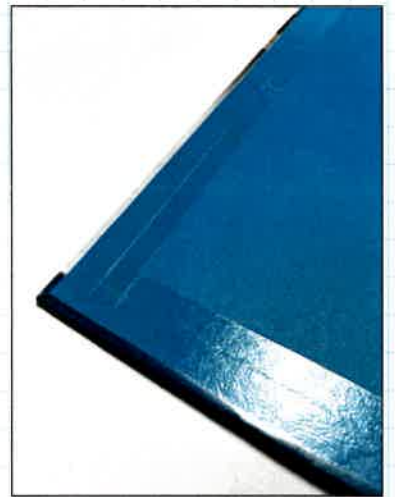
整理は、資料にバーコードやICタグなどをつけてコンピュータに本の情報を登録する作業のことです。

装備は、本の汚れを防ぐためのフィルムのカバーをつけてコーティングしたり、背表紙に置き場所を示すラベルを貼ったりする作業のことです。

これらが完了すると、書架に本が並べられます。



▲ ICタグ



▲ コーティング

● 集めた資料を分類して整理する

整理されていないと資料が探しづらいので、集めた資料をテーマやグループで分類したり「^{しやうもく}所蔵目録」というものを作ったりして整理しています。

図書館の本の背表紙には、^{せいさうきごう}請求記号が書かれたラベルがはられています。これには本の種類で分類された「分類記号」が書かれていて、本の置き場所が分かりやすくなっています。

分類記号は「日本十進分類法(NDC)」という方法を使っていることがほとんどです。NDCは、内容によって

10種類のグループに本を分けて、数字を割り合っていく方法です。



☆ 日本十進分類法 ☆

0 総記	0 総記・総論	1 総記	0 総論	2 地理・歴史	0 総論
	1 総論		1 総論		1 日本の歴史
	2 総論		2 総論		2 アジアの歴史
	3 総論		3 総論		3 ヨーロッパの歴史
	4 総論		4 総論		4 アフリカの歴史
	5 総論		5 総論		5 北アメリカの歴史
	6 総論		6 総論		6 南アメリカの歴史
	7 総論		7 総論		7 オセアニアの歴史
	8 総論		8 総論		8 総論
	9 総論		9 キリスト教		9 総論

3 社会	0 社会一般	4 社会科学	0 社会科学(総論)	5 工業	0 工業一般
	1 社会		1 社会		1 土木・建設
	2 社会		2 社会		2 総論
	3 社会		3 社会		3 総論
	4 社会		4 社会・経済学		4 総論
	5 社会		5 社会・経済学・社会学		5 総論
	6 社会		6 社会・経済学・社会学・社会学		6 土木・建設
	7 社会		7 社会		7 社会学
	8 社会・経済		8 社会		8 社会学
	9 社会・経済		9 社会・経済・文化		9 社会学・経済・社会学

6 産業	0 産業一般	7 芸術・スポーツ	0 芸術	8 音楽	0 総論
	1 産業		1 芸術		1 音楽
	2 産業		2 芸術・音楽		2 音楽・総論
	3 産業		3 音楽		3 音楽
	4 産業		4 音楽		4 ドイツ
	5 産業		5 音楽		5 フランス
	6 産業		6 音楽		6 スペイン
	7 産業		7 音楽		7 イタリア
	8 産業		8 音楽・スポーツ		8 ロシア
	9 産業・総論		9 レクリエーション		9 その他の国の音楽

9 文学	0 文学	図書館の字は、この分け方をもとに書かれています。 本の表紙や本の背表紙にあるラベルの数字を参考にしてください。 			
	1 日本文学				
	2 アジア文学				
	3 欧米文学				
	4 ドイツ文学				
	5 フランス文学				
	6 スペイン文学				
	7 イタリア文学				
	8 ロシア文学				
	9 その他の国の文学				

『令和6年板橋区図書館
を使った調べ学習ユニ
フォーム』参考資料より

●資料を保存する

整理した資料などを本棚に並べて整理し、古くなった資料やきつそうな資料などは一般の本棚とはちがう別の本棚に保存されます。

また、置ききれなくなった本や利用者が少ない本は「閉架」という、利用者に公開されていない書庫に保管されます。貸し出し依頼があったときに、図書館員が持ち出してくれます。



●資料を提供しやすくする

図書館では利用者に本を貸し出したり、読みたい本を探す手伝いをしたりしています。

図書館の資料についての最新情報は「OPAC (オンライン所蔵目録)」に



登録されており、検索機やホームページからさまざまな条件で資料を探ることができます。

また、図書館でうまく資料を探せないときは、レファレンスサービスを利用するという方法もあります。レファレンスサービスとは、資料と情報の調べ方を詳しく知っている図書館員が、ていねいに資料探しのアドバイスやお手伝いをしてくれるサービスのことです。



これらをうまく利用すれば、より自分のほしい資料が探しやすくなります。

V 感想

いまの図書館では、たくさんの資料を保管し、分類して整理することで、利用者がより資料を見つけやすいように工夫されているんだね！



図書館の種類

●いろいろな図書館の種類

図書館といっても、実はさまざまな種類があり、それぞれでちがう役割を果たしています。

●公共図書館(公立図書館)

都道府県や市区町村が運営する図書館などが公共図書館と呼ばれます。公共図書館は、図書館法に基づいて運営されて



おりたれても自由に無料で利用することができます。本やCD・ビデオ・DVD・デジタル資料だけでなく、その地域について書かれた資料なども集められています。

ほかにも、地域情報の提供や住民たちの交流の場としての面もあります。スタンプラリーなどのイベントや読み聞かせをするお話し会など、いろいろな人が図書館に訪れて楽しめるような催しが企画されています。

●国会国立図書館

国会国立図書館は、国が運営する図書館です。東京の国会議事堂の北に併設する「東京本館」、上野公園にある「国際子ども図書館」、京都府にある「関西館」の3つから構成されています。東京本館には国内外から集められた2700万点の資料が所蔵されています。

★国立国会図書館の役割

- 国会議員の仕事をサポートし、資料を探すこと。
- 日本で刊行された、資料の収集や保存、整理
- 利用者への資料の提供
- いろいろな機関との連携

国立国会図書館を利用できるのは、原則18歳以上で利用者登録が必要です。資料の持ちだしはできませんが、コピーを取ることができます。国際子ども図書館だけは18歳未満でも利用できます。児童が本とのふれあいの場として、読書に親しむきっかけを作り、児童書の魅力を広く伝える活動をすることが、国際子ども図書館の役割です。



● 学校図書館

学校図書館は、全国の小学校・中学校・高等学校にある図書館のことをいいます。学校図書館では、すべての教科で役立つ本や、百科事典などといったものをそろえていて、生活の中での読書習慣や、児童が本をもっと読みたくなるように工夫されています。

★ 学校図書館の役割

読書センター 児童が自由に本に触れ、読書への興味や関心を育ち、感性を育む場所になる

学習センター 教科に役立つ書を集め、授業で使いやすいように整理する

情報センター たくさんの資料の中から児童が必要な情報を自分で探し出し、活用したり発信できるように交える

図書館法を基に運営している公共図書館とは違い、「学校図書館法」に基づいており、学校にはかならず図書館・図書室が設けられている。



●専門図書館

ある一つの専門的な分野について
の資料を集中的に収めているのが
専門図書館です。特定の分野で調べたい
ものがあるときに便利な図書館です。マンガ
を集めている図書館や食べ物についての
図書館など、たくさん種類があります。専門図書館のな
かには利用料がかかるものや、利用に制限があるものも
あります。



これらのほかに、大学内にある「大学図書館」や車に
本を乗せて地域を巡る「移動図書館」、個人や企業が
運営する「私設図書館」などがあります。

V
感想

一番身近でよくが利用しやすいのは、住んでいる
地域にある公共図書館と通っている学校図書館だね！



いろいろな図書館に行ってきた!

●板橋区立中央図書館に行ってきた!

ぼくが住んでいるところから
一番近い公共図書館が「板橋区立
中央図書館」です。2021年に平和公
園のよかに移転し開館しました。



●中央図書館のなかを巡ってみた

新しい建物はず3階建てで、なかは広々としていて、たく
さんの人たちが本を探したり読んだりしていました。

★たくさんの子どもたちがいる1階

1階には、ホールと児童コーナー、「い
たばしホローニャ絵本館」があります。
ホールでは、本の展示会などのイベン
トなどが行われます。

児童コーナーでは、児童書や絵本など
が置かれていて、椅子や地べたで読める
スペースがたくさんありました。おはな
しの部屋では、定期的に読み聞かせ会が行われるそうです。



★くつろぎスペースが多い2階

2階には、一般向けの資料が置かれていて、座れるところもたくさんあり、新聞を読んだり雑誌を読んだりしている大人がたくさんいました。

10代向けの本を集めたティーンズコーナーがあって、本を売ったり勉強をしたりしている高校生や大学生が多かったです。

また、CD/DVD視聴ブースがあり、くつろぎながら動画を観ている人がいました。



★落ち着いた雰囲気のある3階

3階は、棚の色も暗めで落ち着いた感じのフロアです。板橋区コーナーや東京都などの地域に関する本などが置いてありました。



●検索や貸し出しが簡単にできる！

それぞれのフロアのいろいろなところにOPAC検索機が置いてあり、すぐに本について調べることができるようになっています。



本を貸りる ときも、自動貸出機を
使って簡単に貸し出し手続きがで
きます。本にはICタグがついていて、自動
で本の情報を読み取ってくれます。



● 緑いっぱい囲まれた図書館

公園のなかにあって周りを
緑に囲まれた中央図書館は、
テラス席もたくさんあって本をゆっくり
読むことができます。



V 感想

休日に行くといつも人がいっぱい、ほくが行ったときは席が全部うまっていた。中央図書館は、いろいろな人が使える居心地の良い場所な人だなと思いました。

●国際子ども図書館に行ってきた!

上野公園にある国際子ども図書館は、国立図書館のなかでも18歳未満が利用できる施設で、小学生のぼくでも利用できます。



国立国会図書館と公共図書館は何か違うのか、実際に見てみたいくなり行ってきました!そして、もっとよく知るために、図書館内を巡るツアーに参加してみました。



●図書館のなかを巡ってみた

国際子ども図書館は、目的や内容などで分けられた部屋がたくさんあります。それぞれの部屋ごとに、本を手
に取りやすいような展示方法になってました。

★子どものへや



『国立国会図書館国際子ども図書館』ホームページギャラリーより

小学生以下の子どもを対象にした部屋で、たくさんの絵本や児童書が約1万冊置いてあります。天井全体に照明があって、本を読むときに指や体などの影が映らないようになっている、円形の本棚をおくことで本に囲まれた感覚にふれたため、小さな子どもでも本が読みやすいような工夫がされていました。

★世界を知るへや



『国際子ども図書館』ホームページギャラリーより

「世界を知るへや」には約2000冊の絵本があり、外国の子どもたちに親しまれている絵本をはじめ、日本の絵本の海外版が置いてありました。日本版と海外版の絵本が並んで置いてあって、違いが実際に手にとって分かりますとおもしろかったです。この場所は昔、貴賓室として使われていたそうて、エテ絵で作られた天井や、寄せ木の床など、ごうかな装飾を感じられました。

★児童書ギャラリー

明治時代に書かれた絵本から現在の絵本までが展示されていて、実際に手にとって読むことができます。明治時代には「特別閲覧室」とも言われており、今は動いていいますが「本のエレベーター」というのもありました。



『国際子ども図書館』ホームページギャラリーより



★調べものの部屋



『国際子ども図書館』ホームページより

中学生～高校生向けの本が約1万冊集められた部屋で、調べものやレポート作成に役立つ本がたくさんあります。「調べものの体験プログラム」を実施しており、図書館を使った調べものが体験できるようになっています。

★本のミュージアムとホール

本のミュージアムでは、児童書などの展覧会が開催されます。ぼくが行ったときには、世界の国のいろいろな絵本が集められ、読むことができました。

ホールは、国際子ども図書館の歴史的な資料や模型が展示されているほか、読み聞かせや音楽会などのイベントができるスペースがあります。近隣にある上野動物園や東京文化会館などとコラボしてイベントを行うなど、地域とのつながりも大切にしているそうです。



『国際子ども図書館』ホームページより



★児童書研究資料室

ここは、2015年に作られました。児童書の調査研究をする人が利用でき、入館するためには登録が必要になります。書庫にある本も請求することができます。本を借り何年も保存していくための場所で、4万冊以上の本が保管されています。



『国際子ども図書館』ホームページより

★書庫

ここは、一般の利用者は入れない場所で、ツアー参加者は見学させてもらえました。とても広い部屋で、たくさんの本棚がありました。日本で発行された絵本や児童書を集めて保管されており、現在はすべての書庫を合わせて約105万冊もの本が収納されています。今後も年に1万冊のペースで増えていくそうです。

本棚には「No.〇」と書かれて本の刊行年ごとに保管されていました。それぞれの本棚にはレバーがういていて、回すと本棚が動いてスペースができて、中の本が閲覧できるようになっていました。

また、本をよい状態で保管できるように、部屋のなかには適切な温度と湿度が保たれているそうです。



国際子ども図書館ホームページより

●国際子ども図書館の建物

国際子ども図書館は、2000年に開館した、比較的新しい施設ですが、歴史のある古い建物「レンガ棟」に新しい建物「アーチ棟」が組み合わされて作られています。

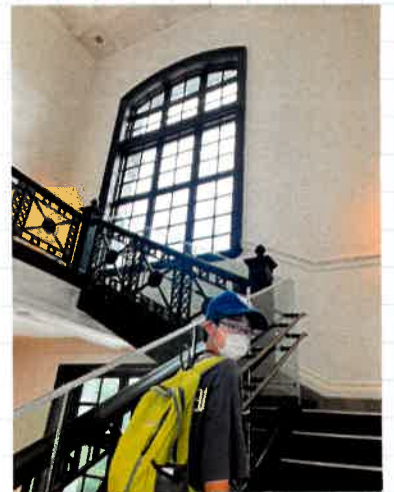


レンガ棟

アーチ棟

古い建物の部分は「帝国図書館」として明治39年に
建てられ、さらに昭和4年に増築してレンガ棟ができてしま
った。

国立国会図書館の建設後は文部図書館として使わ
れていましたが、その後はレンガ棟が改装され、国際子ども
図書館となりました。さらに2015年にアーチ棟が作られ
て、いまの形になりました。



V
感想

歴史のある建物が、子どものための図書館に生まれ
変わったのが国際子ども図書館です。歴史を感じる
場所で本を読むのもいいなと思います。

●常盤台小学校の学校図書館に行、てみた！

図書館のことを調べてみて、図書館にもいろいろな種類と違いがあることが分かりました。なので、学校図書館という場所も改めて見てみようと思いました。

ぼくは、自分が通っている常盤台小学校の図書室に行、てきました。学校の図書室には、日本の物語や昔話、絵本などが多く、子どもでも親しみやすく、楽しめるような本ばかりでした。外国の本と翻訳した本は、公共図書館に比べると少ない感じがしました。



本棚が修めになっているので、
1年生でも本を取りやすくなりました。
そして、学年ごとに必読図書の本
棚が置かれているので、分
やすいと思いました。



また、「しらべがくしゅうい」の部屋が
となりにおいて、調べる学習に役立つ
本がたくさん置いてありました。



図書館のなかには、保護者による図書ボランティアの人
たちが季節に合わせた装飾をしてくれていて、図書室が
明るく親しみやすいように感じました。



さらに、「図書委員おすすめの本コーナー」というものがあり、本を読まない人にも読んでもらえるような工夫もされていました。



常盤台小学校には図書室のほかに「絵本の部屋」という絵本がたくさん置いてある部屋があります。手元配置がしかれていて、気軽に絵本を手に取ってゆっくり座って読むことができるようになっています。



感想

公共図書館だと借り忘れていてなかなか読めない本とかも置いてあったり、シリーズ本がたくさんあったりと、気軽に借りやすいのがかいいなと思いました。

●音楽の専門図書館に行ってみた

ぼくは、東京都上野にある音楽の専門図書館「東京都文化会館音楽資料室」に行ってきました。

東京都文化会館は、オペラやバレ

エ、コンサートなどが公演できる音楽ホールで、音楽資料室はその建物に併設されています。



音楽資料室には、大きな荷物などを持ち入れやすいようになっていて、入口のロッカーに荷物をしましました。受付をして中に入ると、たくさんの音楽について書かれた資料がずらりと置いてありました。



ここには、書籍や雑誌だけでなく、楽譜やCD・DVD、東京文化会館で公演されたプログラムなど、約13万点か

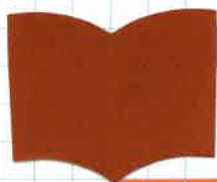
所蔵されています。本棚を見ていると、バレエやオペラ、ミュージカルなどの書籍から、たくさんの楽器について
の書籍、合唱、童謡などの歌、そして音楽史や伝記、
日本の音楽についてのものまで、さまざまなジャンルのものが
びっしりと置いてありました。

ぼくはトランペットが吹けるので、楽器の本のある棚
を見てみたら、たくさんのトランペットの本がありました。
音楽についての調べ物をするなら、こういう専門
図書館のほうが たくさんの資料が あっていいなと
思いました。



V
感想

本や楽譜などで調べ物をしている人がいました。
ぼくにはまだ難しい内容でしたが、専門の人には
ぴったりの図書館だと思います。



板橋区の取り組み

●各地区にある図書館と連携

板橋区には、中央図書館を含め、分館として点在した図書館が11館あります。利用者登録をしたら板橋区内のどの図書館でも貸し出しができるようになります。

●各図書館ごとに特色を持っている

板橋区では特色のある図書館づくりに取り組んでいます。特色のある図書館づくりとは、地域ごとの図書館で優先的に購入する資料を変えることです。

たとえば、中央図書館には、地域に関する資料や高度な参考図書、教育目的の本と多く所蔵しています。ですが、成増図書館では、芸術や美術・ビジネス支援に関する本、赤塚図書館では、自然観察や農業・図芸関係の本などを優先的に所蔵しています。



◀成増図書館

赤塚図書館▶



ぼくは、成増図書館と赤塚図書館にも行ってました。どちらの図書館も中央図書館とは雰囲気がちょっと違い、落ち着いた感じがしました。

赤塚図書館では、子ども向けのスタンプカードがあって、たくさん本と借りてもらう工夫がされてました。

●予約で各図書館から本が借りられる

インターネットの蔵書検索・予約を使うと、本の情報だけでなく各図書館にある貸し出し状況も分かります。ここから本を予約すると、貸し出し可能な図書館から近くの図書館まで本を移送して保管してくれます。近くの図書館にない本でも借りられるので便利です。



『板橋区立図書館』ホームページ



検索画面

●電子図書館を利用できる!

電子図書館は書籍や雑誌などを電子化した資料を収集し、インターネットを通じて本を貸し出すシステムです。電子化することで、紙の本のように劣化しないというメリットもあります。

板橋区でも電子図書館のサービスがあります。利用者がわざわざ図書館に行かなくても、本を借り返すことができます。



『板橋区電子図書館サービス』のホームページ

また、借りる前に試し読みもできて便利です。ほかにも読み放題や、新着資料などのコーナーもありました。

ほかたちの学校でも電子図書館のサービスが配られ、読み放題の本を借りることができます。

感想

図書館に行かなくても本が読めるのは便利だけど、図書館で本を選ぶ楽しさもあるのかなと思いました。

●絵本のまち板橋

ぼくが住んでいる板橋区では、「絵本のまち板橋」という取り組みをしています。なぜ板橋区で絵本なのかというと、友好都市のイタリアのボローニャ市から絵本を通じた交流をしていることと、板橋区内に印刷・製本の会社が多くあるからです。

子どもから大人まで、すべての人が絵本に親しみをもち、絵本を通して交流し文化を発展させることを目指しています。



『絵本のまち板橋』ホームページ



リーフレット

V
感想

板橋区にたくさん印刷関連の会社があり、こういう取り組みをしているのは知らなかった。

●いたばしポローニャ絵本館

板橋区立中央図書館のなか
にある、絵本の専門図書館です。

イタリア・ポローニャ市から寄贈
された絵本をはじめ、世界より100
カ国・70言語の3万冊の絵本が置いてあります。



●ポローニャ絵本さんぽ

板橋区立美術館「イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」
が開催されている間、板橋区や近隣のさまざまな場所
でポローニャ展の入館者の見学会が行われます。展示会
場のカフェやギャラリーを巡りながら、絵本の魅力を知
ることができるイベントです。



リーフレット

●スタンプラリー「いたばし絵本さんぽ」に挑戦!

図書館について調べているとき、
ちょうど「ボローニャ絵本さんぽ」のスタ
ンプラリーが開催されていました。
「板橋区立美術館」、「板橋区立中央
図書館」、「熊印良品板橋南町店」の
3つのスポットを巡り、スタンプを
集めると、景品がもらえるという
ものです。

ぼくは、中央図書館をスタートに
して、ほかの2つのスポットを巡る
さんぽに出かけました。

★板橋区立美術館

板橋区立美術館では、ちょうど
「2024イタリア・ボローニャ国際
絵本原画展」が開催されていまし
た。スタンプを押したあと、展示
を見てみることにしました。



展覧会では、イタリア・ボローニャで行われたコンクール
の入選作品が展示されており、日本や海外の作家が書いた絵
本が飾られていました。

展示されている絵本のイラストには、文字が書かれていな
いものが多いのですが、絵でかかっているものから何を言
いたいのかを考えながら、楽しむことができました。



★無印良品 板橋南町22

最後に、板橋区南町にある無印
良品に行ってきました。無印良品
の外には図書館の本の返却ポスト
が置いてあり、ここでも本が返せ
るようになっていました。



なかに入ると、SDGsのイベント「いたばしさんぽ」のす
ごろくが床にしかれていました。

2階には、いたばしさんぽの展示とたくさんの絵本が置かれ
ていました。展示をながめながらスタンプを押して、スタン
プをコンプリート！景品をもらうことができました。

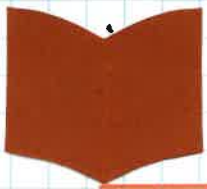


ぼくは、これまで区立美術館には行ったことがなく、
今回スタンプラリーがあって初めて行きました。スタン
プラリーがきっかけで、板橋区のいろいろな場所を
巡ることができ、絵本について知ることができ
たので、よい経験になったと思いました。



V 感想

区立美術館で展覧会を見たり、無印良品でアイス
食べたりと、夏休みのおでかけにもなっていて、楽しい
思い出になりました。



まとめ

●図書館の見方が変わった!

今回の調べる学習では、本はなぜ無料で借りられるのか?という疑問をきっかけに、図書館について調べてきました。

そのなかで、図書館が無料で利用できる理由だけでなく、図書館の役割や種類があることを知りました。また、図書館の歴史はとても長く、役割が時代ごとに移り変わっていったことも分かりました。

ぼくはこれまで、図書館を本が借りられる場所くらいにしか思っていませんでした。しかし、図書館には「国民が知る権利と自由を支えるという役割があり、かたよりのないさまざまな本や情報を集めて提供することで、みんなの知る自由を守っているのだと知りました。



『日本図書館協会ホームページ』

今回、ぼくが住んでいる板橋区の公共図書館についても調べました。いつもと違う図書館に行ってみたり、スタンプラリーに参加してみたりして、板橋区がしているさまざまな取り組みについて、より身近に感じることができました。

●調べる学習で図書館を使う理由

図書館は、たくさんの知識や情報が集まる場所ですが、取り出し方が分からないと使えません。けれど、本の探し方や本を使った調べ方が分かれば、たくさんの情報を得ることができます。そのやり方を学び、かけになるのが、調べる学習なのかなと思いました。

今回の調べる学習で調べたことを忘れないようにして、これからも中央図書館でいっぱい本を借りて、本を読もうと思います。

さんこうぶんけん
【参考文献リスト】

りよう としょかん かなら か
利用した図書館(必ず書いてください)

中央	としょかん 図書館
	としょかん 図書館

さんこう ほん ほん さいご じょうほう か おお
参考にした本(本の最後のページに情報が書いてあることが多いです)

ほん か ひと 本を書いた人	ほん なまえ 本の名前	しゅっぱんしゃ 出版社	しゅっぱんねん 出版年	ページ	せいぎゅう 請求 番号 記号	としょかんめい 図書館名
あきたき よみ 秋田喜代美	図書館の役割を考えてみよう	岩崎書店	2012年	48	1	中央図書館
あきたき よみ 秋田喜代美	図書館のはじまり・うつりかわり	岩崎書店	2012年	48	1	中央図書館
たかだたかし 高田高史	図書館のひみつ	PHP研究所	2016年	64	1	中央図書館
おだみつひろ 小田光宏	図書館図鑑	金の星社	2021年	80	1	中央図書館

参考にしたWebページ

サイト名	サイトをつく ひと だんたいめい サイトを作った人・団体名	URL	み 日づけ 見た日付
板橋区立図書館	板橋区	https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/	
絵本のまち板橋	板橋区	https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/seisaku/keiei/promotion/1025922/index.html	
板橋区電子図書館サービス	板橋区	https://web.d-library.jp/itabashi/g0101/top/	
国立国会図書館国際子ども図書館	国立国会図書館国際子ども図書館	https://www.kodomo.go.jp/	
日本図書館協会	公益社団法人日本図書館協会	https://www.jla.or.jp/t	

ひと
インタビューした人

なまえ お名前	しせつ みせ なまえ 施設や店の名前	インタビューした 日づけ 日付